



4月9日、松江市宮陸上競技場を
発着点に開催された第61回穴道湖一
周駅伝競走大会で、雲南市が見事優
勝の栄誉に輝きました。
雲南市チームは、1区から5区ま
での区間をトップタイムで通過し、



優勝した雲南市チームのみなさん

初出場・初優勝

穴道湖一周駅伝競走大会

全60.7kmのコースで終始リードを保ったレース運びで快走。2位で前回優勝の松江市チームを大きく引き離し、出場14市町村の頂点に立ちました。

さらに、43チームが出場した2部では、同じく地元ホシザキ電機チームも優勝と好成績だったほか、雲南市陸協が18位、うんなん木次走友会が30位と健闘しました。

また、最優秀選手賞には、1部で下宮雅行さん、2部で宮廻英治さん（ホシザキ電機）がそれぞれ選ばれています。

選手のみなさん優勝おめでとうございます。

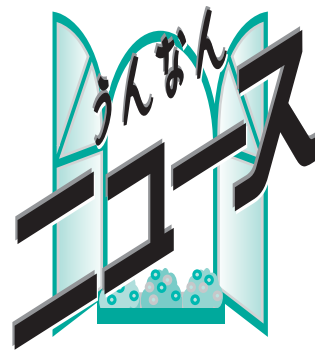
大会結果 【1部】市町村対抗

出場数14チーム

優勝 雲南市

3時間18分27秒 (60.7km)

- 1区・ 7.3km：荒木公栄さん(22分52秒・区間1位)
- 2区・ 9.9km：下宮雅行さん(30分55秒・区間1位)
- 3区・ 6.5km：日野誠彦さん(22分 7秒・区間1位)
- 4区・ 8.2km：安部元樹さん(26分29秒・区間1位)
- 5区・ 5.4km：黒田英夫さん(18分34秒・区間1位)
- 6区・ 11.6km：細田洋人さん(39分20秒・区間2位)
- 7区・ 11.8km：但馬裕朗さん(38分10秒・区間2位)



日韓親善交流民俗芸能フェスティバル開催

韓国オンヌリ国楽芸術団公演

4月2日、チェリヴァホールでオンヌリ国楽芸術団（具 尚本団長）の公演があり、訪れたおよそ600人の観客は、胸に響く強いチャングのリズムと麗しいカヤグムの響きに魅了されました。

今回の公演は、日本と韓国の文化・経済・教育交流を通じて親善を深めようと、昨年12月に設立された雲南地区日韓親善協会の設立記念事業として、同協会が主催したものです。韓国の国楽を受け継ぐオンヌリ国楽芸術団は、小学生から大学生まで



また、日韓交流ということもあり、田井保育所子ども神楽や海潮中学校神楽部、掛合太鼓保存会「和童」も出演しました。



2回の公演の間には、隣接するサンチェリヴァ内でもパレードを行いました

の団員で構成され、韓国の慶尚北道を活動拠点とする音楽団体です。



気持ち新たに

雲南市消防団 任命式



新しく幹部に任命された団員と新入団員への任命書が高橋団長からそれぞれの方面隊の代表者に手渡されました

平成18年度の雲南市消防団任命式が4月2日、掛合体育館で行われ、84人の団員が新たに入団しました。

式では、高橋日出男団長が「新入団員のみなさんには、1日も早く一人前の消防団員になってもらい、地域の防災活動にあたっていただきたい。また、今年は島根県消防操法大会が雲南市で開催されますので、団員のみなさんには、地元消防団として上位入賞めざしがんばって欲しい」と激励しました。

ひるごとの風物詩 奥出雲おろち号

運行9周年 今年も発車オーライ



関係者によるくす玉割りで運行開始を祝いました

トロッコ列車は、木次中学校吹奏楽部の軽やかな演奏の中、1日駅長に選ばれた木次中学校3年の中島和彦さんの発車の合図で出発しました。

また、奥出雲町と雲南市で組織されるトロッコ列車活用協議会では、今年も雲南地域の観光スポットをトロッコ列車とバス・タクシーで結ぶツアーなどを計画し、雲南地域の観光振興、地域活性化につなげていきます。

今年で9周年を迎えるJR木次線のトロッコ列車「奥出雲おろち号」が運行開始となり、4月1日、その出発セレモニーが行われました。セレモニーでは、木次線強化促進協議会の速水雄一会長が「昨年のトロッコ列車利用者数は過去最高であり、年々乗客数も増加傾向にあります。この列車の運行により、さらなる交流人口の拡大を図りたい」とあいさつしました。

